

辺野古新基地建設反対！ 許すな改憲！12.8 北海道集会

日 時 2014年12月17日(水)18:00~20:00
会 場 北海道自治労会館 4Fホール(札幌市北区北6条西7丁目)
主 催 北海道平和運動フォーラム
戦後60年・北海道行動実行委員会
参 加 費 無料 ※事前申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。
内 容 DVD上映「圧殺の海 沖縄・辺野古」
解説 藤本 幸久 監督

2014年7月1日、安倍首相が集団的自衛権を閣議決定した同じ日に、辺野古の新基地建設が着工された。巡視船やゴムボート、特殊警備艇、警戒船など、最大80隻にもなる船で埋め尽くされた辺野古の海。反対する人たちを力強くで抑え込みながら、有無を云わざず工事をすすめる日本政府。海で、基地のゲート前で、毎日、激しい攻防が続けられているが、本土のマスメディアの体温は今までになく低い。

周到に築き上げられてきたこの無関心の壁に穴を穿って、辺野古の闘いの“いま”を伝える自主制作の映像が届けられた。現地で闘う市民たちと森の映画社が協力して作り上げたドキュメンタリーである。炎天下の日中も、台風前の雨の中も、ゲート前に座り続ける人びと、両手を広げて工事用のトラックの前に立つおじいやおばあたち、体一つでカヌーで海へこぎ出す人びとの魂の熱量がそのまま映し込まれているこの映像は、軍事大国への兆しの時間に、日本人が向き合うために世に送り出された。

庄
・
沖縄
・
辺野古
の
海

